智の同



国際交流



今年も笑顔でふれあい

びくに・みなと保育所で

生活発表会

- 納税意識の向上に役立てて-

余市地方法人会積丹地区会青年

税を考える週間

た。 究員との交流事業in積丹」が各 に残る交流のひと時を過ごしまし ロシア・パラグアイなど8ヵ国13 小・中学校で行われ、アメリカ・ 人の研修生と児童・生徒が思い出 今年で9回目を迎える「海外研

壁を越えて文化の違いについての を使って紹介したりなど、言葉の 的な文化を披露したり、研修生の 貴重な学習が行われました。 自国での生活の様子や遊びを写真 染やもちつき体験など日本の伝統 自己紹介が行われた後、 各学校では、歓迎のあいさつや 和紙の折

> 配食サービスを行いました。 谷玲子会長)は、「手作り弁当」 「手作り弁当」の配給サービス— 11/28 積丹町食生活改善推進員会 **(越**

行われております。 として実施され、昭和60年頃から 的に取り組むさまざま活動の の皆さんの健康を守るために積極 同会が食生活の改善を通じて住民 毎年恒例となったこの活動は、

がっていました。 にしていたよ。」と喜びの声があ からは「毎年ありがとう」「楽しみ 乃世帯に届けられ、受け取った方 もった手作り弁当85食が老人世帯 今回は焼き魚や煮物など心のこ

第15回みな 行われまし がそれぞれ 生活発表会 と保育所の くに保育所 第32回び

みなと保育所 典等が贈られました。 防犯ブザーと6年生12人に和英辞 月2日に町内小学校1年生13人に 部と町納税貯蓄組合連合会から12

です。 行っているもので、社会の仕組み いたいとの願いをこめているもの や税金のことについて考えてもら に両団体の活動の一環として毎年 これは、納税意識の向上を目的

各小学校をまわり1年生、 にそれぞれ手渡しました。 この日は、播磨修一青年部長が 6年生

がより一層会場を盛り上げました。 ぱいの笑顔で表現し、かわいい衣裳 た発表会は、工夫を凝らした劇や

手遊びなど小さな体をいっ

園児全員の開会の言葉で始まっ

らは、一幕ごとに大きな拍手と声

会場いっぱいに詰めかけた家族か

成長した我が子の姿を見ようと

援が送られました。



12/13 びくに保育所



Diary of Shakotan

利ヘアタック



やさしい介護教室 -認知症についての理解を深める―12/5



の事業は今回で17回目を迎えまし づくりを目的に実施されてきたこ レーボール大会がB&G海洋セン B&G財団会長杯争奪ソフトバ で行われました。生涯スポ 環として健康づくりや仲間

合の部8チーム43人、女子の部3 指し熱戦が繰り広げられました。 チーム12人)が参加し、優勝を目 大会には13チーム55人(男女混 大会の結果は次のとおりで

第3位 準優勝 FB - オバラチーム ブラボーファミリーズ チームどんだり チーム長谷川

第3位

チーム石田 チーム佐藤





ターで開催されました。 に47人が参加して総合文化セン 目的とした「やさしい介護教室」 囲の人の見守りついて学ぶことを 初期の認知症について家族や周

心の高さが伺えました。 すればいいのかなどを学びました。 解を得たらいいのか、家族の対応 験談を聞きながら、どのように理 も見られるなど認知症に対する関 いている人などもいて、涙ぐむ姿 護をしている人や町外の施設で働 や地域でのサポートをどのように の会」を招き、ビデオや講話、 余市町認知症の人を支える家族 認知症介護経験者で構成される 参加した方の中には、実際に介

笑顔で温かい拍手を送っていまし き林」や「紅の舟唄」など合計22 施されているもので、 目を迎えます。「しょしょ寺のたぬ 演目が披露され、お年寄りは終始 この慰問は平成8年から毎年実

2日間の日 子会長)は、 会(戸来和 美国婦人

問し、施設 ションを慰 程でエイジ ングステー

の入所者に歌や踊りを披露しまし

今年で14回 そう。」

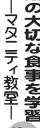






妊娠期の大切な食事を学習

いつまでもお元気で



実習を行いました。 養士(余市町)を招き講話や調理 とを目的として講師に神山悦子栄 妊娠期の食生活について学ぶこ

ぷりみそ汁」や「ネバネバ納豆の 3名が参加し、基本的な妊娠期に 春巻き」などを作りました。 おける食習慣について学習したほ か、調理実習として「きのこたっ この日は町内の妊婦9名のうち

う。」「他にアレンジしてもおい 参加者からは「これならできそ

